

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

平成 31 年 4 月 1 日改正
(平成 31 年 4 月 1 日適用)

① 第三者評価機関名

特定非営利活動法人 岐阜後見センター

② 施設・事業所情報

名称：瑞浪市立稲津幼稚園	種別：保育所
代表者氏名：工 藤 洋子	定員（利用人数）： 1 1 0 名
所在地：岐阜県瑞浪市稲津町小里 6 9 7 - 1	
TEL：0 5 7 2 - 6 8 - 3 4 0 0	ホームページ： http://www.city.mizunami.lg.jp/docs/2014092907473/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 昭和 2 7 年 3 月	
経営法人・設置主体（法人名等）：瑞浪市	
職員数	常勤職員： 8 名 非常勤職員 1 3 名
専門職員	（専門職の名称） 名
	保育士 8 名 保育士 1 1 名
	教諭 1 名
	事務員 1 名
施設・設備 の概要	（居室数）
	（設備等）
保育室 7 室(乳児室 1 室) 遊戯室 1 職員室 1 調理室 1	

③ 理念・基本方針（※転載）

< 保育理念 >

- ・義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適切な環境を与えて、その心身の発達を助長する。
- ・保育を必要とする子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図り、その子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。

< 基本方針 >

- ・「仲間の中で生き生きと自分らしさを発揮し、支えあいながら自立する子」を育成する。
- ・保護者や地域の人たちと協働して、魅力ある環境づくりに努める。
- ・専門職としての資質向上のための研修の充実をはかる。

④ 施設・事業所の特徴的な取組（※評価機関において記入）

- ・ 町民夏祭りや運動会、文化祭等、様々な地域行事に参加したり、近隣の高齢者施設や宅老所を訪問したりする等、交流が盛んである。また、地域の高齢者との交流(里山、畑、木工)寿大学との交流、小中学校との交流(小学校とのプール交流、1年生との活動交流、5年生との歯磨き交流、小学校への親子遠足、中学2年生の職場体験)等を通して、地域との交流を深めている。
- ・ 園庭が広く日当たりも良く、整理されている。また、園が隣接のコミュニティセンターとつながっており、センターの駐車場を活用して、保護者の送迎などがスムーズにできる。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 1 年 6 月 1 2 日（契約日） ～ 令和 2 年 3 月 1 6 日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	2 回（平成 2 1 年度）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

<広く地域交流に努めている。>

地域に開かれた園として、地域の方々と触れ合う機会を多く持てるよう、積極的に地域行事に参加するとともに、地域ボランティア協力のもと「トトロ山活動」や「野菜の栽培活動」を実施している。また毎週の園庭開放の実施や、近隣の子育て支援センターの行事を遊戯室で行う等して、地域の未就園児とも交流している。また、高齢者施設への訪問等、様々な地域交流に努めている。

<保育の質の向上に取り組んでいる。>

園内での研究会(週案研、年齢別カリキュラム研、エピソード研、公開保育等)を充実させ、研究会活動を通して、各職員がクラスの現状や課題を話し合い、改善点を検討している。多くの職員が参加できるように時間確保に努めるとともに、正規職員と臨時職員がともに保育の質を高めていくことができるよう、研修のあり方や方法について工夫に向けた取り組みを行っている。また、保育士のための自己評価チェックリストを活用し、毎年、定期的に職員間で自己評価チェックを実施し、検討している。さらに、園内で、公開保育やエピソード研究、カリキュラム研究、個別支援計画作成検討会を実施する等、研究構想に明示されたP D C Aサイクルを回して保育の質の向上に取り組んでいる。

<子どもの主体性を尊重した保育に取り組んでいる。>

保育計画を基に、子どもが主体的に活動できるための援助を具体化して、環境設定と遊びを準備している。季節や年齢、それぞれの興味に基づき、子どもたちが目標設定できる環境構成を行っている。例えば、クリスマスやハロウィンパーティー、夏祭りは子どもたちの要望や企

画を基に実施している。また、3歳児は縄跳びの活動の中で、跳んだ回数等、その子なりの達成感を味わえる工夫がされており、生き生きと取り組んでいる様子うかがえた。子どもが主体的に材料を選んでリースが作れるよう、テラスに様々な木の枝や木の実が用意されている。各クラスでは、子どもたちのやりたいゲームやお店屋さんごっこ等、自発的に自分の力を発揮して取り組んでいる。

◇改善を求められる点

<中・長期計画の充実化に向けた取り組みに期待したい>

中・長期計画は、園運営の方向性を明らかにした中・長期ビジョンは示されているが、経営全体に渡る内容を盛り込んだ、予算の根拠づけによる実効性のある計画の策定までには至っていない。今後とも継続して、計画の充実化に向けた取り組みに期待したい。

<事務のICT化の促進等、業務の効率化に向けた取り組みに期待したい。>

事務作業は、データベース化することにより、作業の効率化につながるとともに、保管スペースや廃棄の手間等の問題解決につながると考える。今後、市の予算の優先度があると考えますが、事務のICT化の促進等、業務の効率化に向けた取り組みに期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の福祉サービス第三者評価の受審を通して、日々の保育のあり方や園の運営全般について見直すよい機会となりました。良い評価を頂いた項目につきましては、当園の特徴であったり、力を入れている部分であったりしたので、嬉しく思います。今後も更なる改善に努めていきたいと思ひます。また、ご指摘をいただきました改善すべき点につきましては、公立園ですので、市役所と相談しながら改善に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

現在保育現場が抱える課題解決と共に、多様化する地域の子育てニーズに対応した保育サービスの提供のあり方について検討、改善できるよう継続的に努力していきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。